

2008/03版

# PTS Ver.2.0 ガイドライン

～ Planogram Transfer Specifications Ver.2.0 ～

初 版:2005年08月  
第2版:2006年10月  
第3版:2008年03月

棚割システム研究推進会

# 1 PTS Ver.2.0 への対応状況

## ● PTS対応システム一覧

システム名	PTS Ver.1.0	PTS Ver.2.0	備 考
APOLLO	◎ 対応済み (ACS Ver2.0~) ( InfoBridge Plus Ver.3.0~ )	未定	
Store Manager	◎ 対応済み (Version2.0~)	◎対応済み (Version9.0~)	
SPACEMAN	◎ 対応済み (Version6.0~)	○ 対応予定(2006/10) (Version7.2~)	
棚サイエンス	◎ 対応済み (Version6.0~)	◎対応済み (Version9.5~)	
棚POWER、店POWER	◎ 対応済み (棚POWER:Ver.7.0~) (店POWER:Ver.1.0~) (棚SCAN :Ver.1.0~)	◎ 対応済み (棚POWER:Ver.14.0~) (店POWER:Ver.4.20~) (棚SCAN :Ver.2.0 ~)	
Space Planning by Intactix(tm)	— — —	— — —	
コックピット	◎ 対応済み	◎ 対応済み (Version1.0、2.0)	花王カスタマーマーケティング社 の自社システム (非売品)

## 2 PTS Ver.2.0 出力時の注意事項

### ● 出力時の注意事項

#### ○ 全般

- ・出力するファイル名称は任意とし、形式はCSV形式(拡張子:csv)とする。
- ・1ファイルには、複数の台からなる棚割モデルを一つ出力する。
- ・出力レコード順は、「PTSヘッダー」>「台情報」>「棚情報」>「配置情報」でソートを行う。
- ・各項目は、ダブルクォーテーション(“ ”)等で囲まない。
- ・必須項目は、必ず出力する。

#### ○ 台情報

- ・複数の台がある場合、項目No1「台番号」の順にソートを行う。
- ・台名称は任意出力の参考情報とする。

## 2 PTS Ver.2.0 出力時の注意事項

### ○ 棚情報

- ・項目No1「台番号」、項目No2「棚段番号」の順にソートを行う。
- ・「棚高さ」は、床面から陳列面までの高さを出力する。フック(吊し)の場合は、床から吊される箇所を中心までの高さとする。
- ・袴(はかま)の概念がある場合でも、PTSでは袴も含めて1段目の「棚高さ」とする。  
※ PTSでは、袴を定義しない
- ・1段目の棚(「棚段番号」=1の場合)は、以下の通り出力する。
  - －「棚高さ」=「1段目の棚厚さ」となる場合は、「棚厚さ」=0(ゼロ)をセット
  - －「棚種別」=1(床置き)をセット

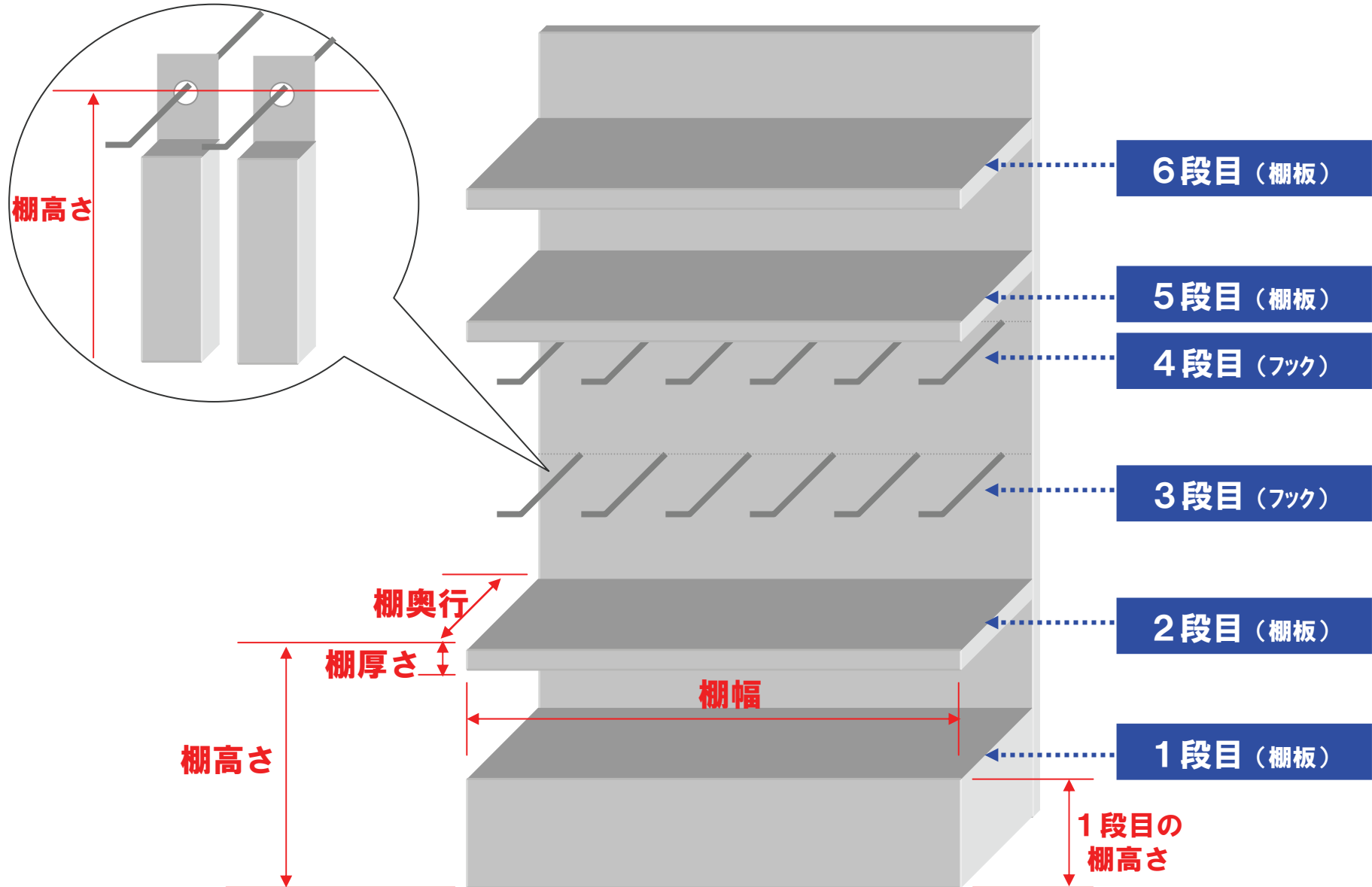
## 2 PTS Ver.2.0 出力時の注意事項

### ○ 配置情報

- ・項目No1「台番号」、項目No2「棚段番号」、項目No3「棚位置」の順にソートを行う。
- ・陳列商品のSKU単位で出力し、同一商品が複数フェース配置されている場合も1レコード出力する。ただし、以下の場合は別レコードとして出力する。
  - － 連続して陳列されておらず、同一モデル内の別の場所に同じSKUが配置されている場合
  - － 連続して陳列されているが、フェース面、フェース回転、積上数のいずれかが異なる場合
  - － 連結棚(隣り合う台間で繋がっている棚)の連結部に複数フェース配置されている場合
- ・候補商品(床置き商品等)の概念がある場合は、「台番号」、「棚段番号」、「棚位置」に全て0(ゼロ)をセットする。
- ・「在庫数量」は、ユーザーによってセットされた在庫数がある場合は優先してセットし、ない場合には、陳列可能数を算出しセットする。
- ・一つの棚割モデルの中(1つのPTSファイル内)で、同一SKUの配置情報が複数レコード出力される場合は、該当レコード全てに合計の在庫数量をセットする。

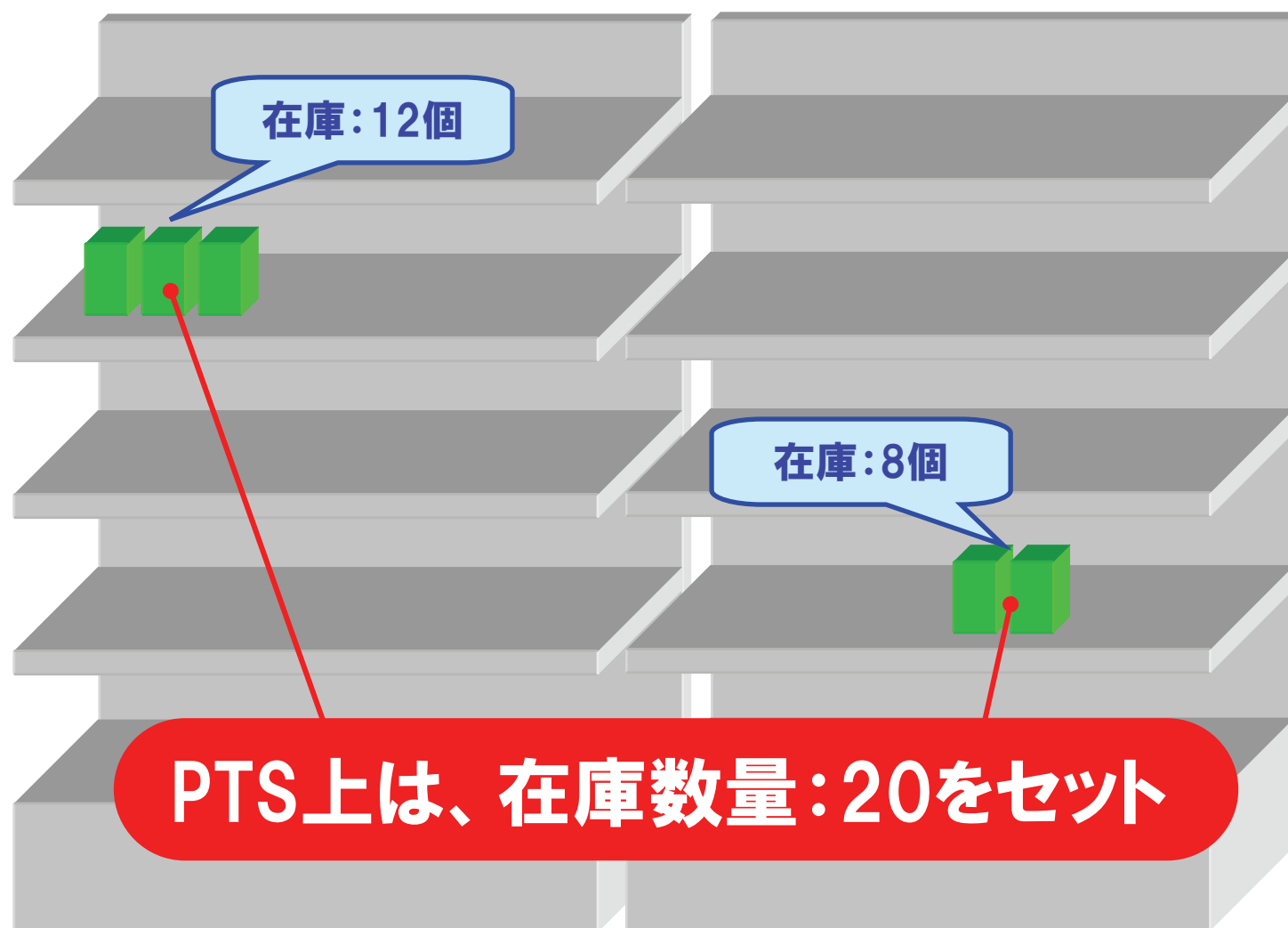
## 2 PTS Ver.2.0 出力時の注意事項

### ○ 台情報、棚情報の概念



## 2 PTS Ver.2.0 出力時の注意事項

○ 同一SKUの配置情報が存在する場合の在庫の考え方



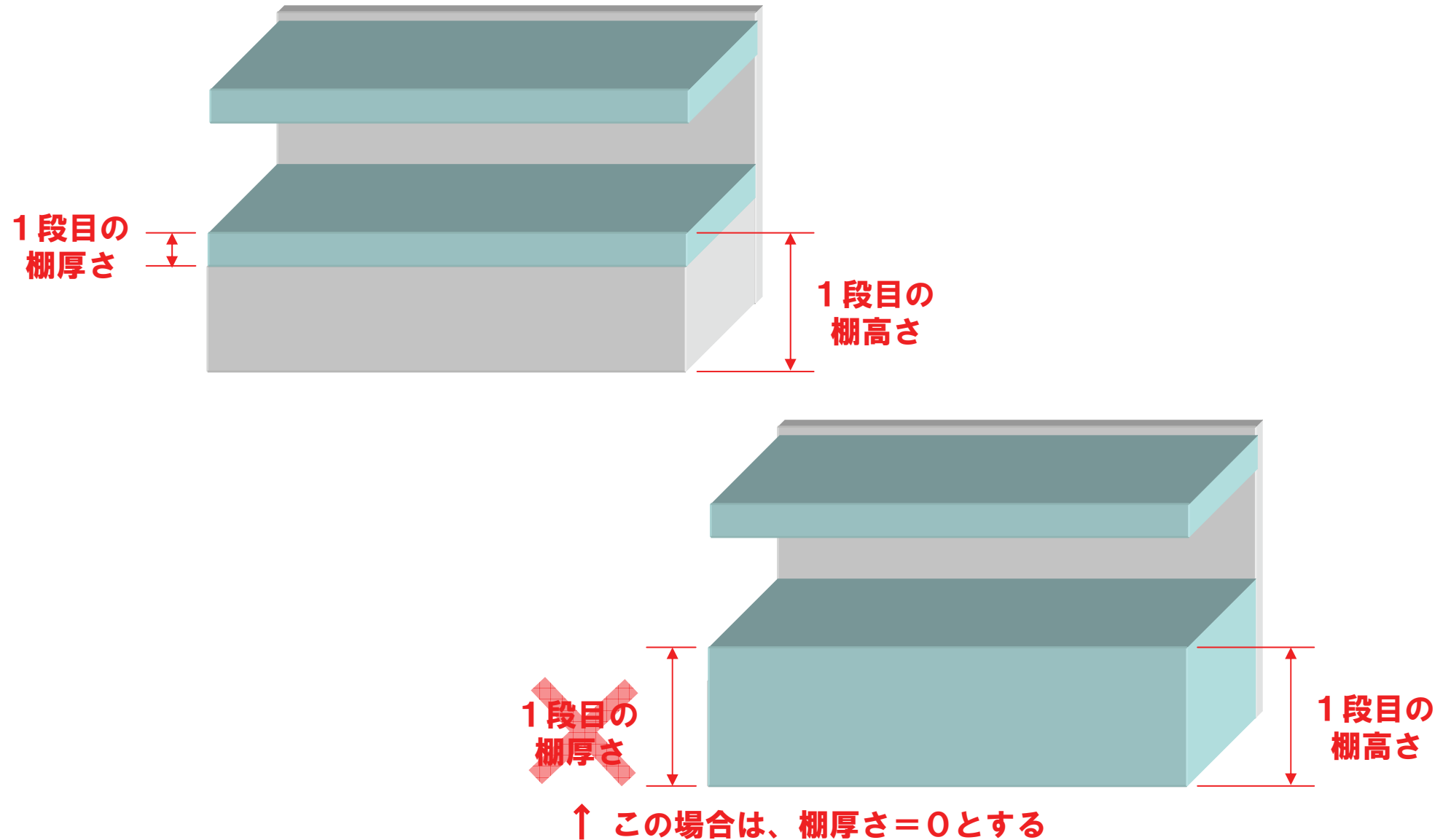
### 3 各システム入出力時のガイドライン

#### ● 1段目の棚厚さ

システム名	
APOLLO	(1段目を袴とするなら)1段目は「棚高さ」=「棚厚さ」となる *1段目は「棚厚さ」=0で出力
Store Manager	1段目の「棚厚さ」は別途持っている
SPACEMAN	1段目の「棚厚さ」は別途持っている
棚サイエンス	1段目の「棚厚さ」は別途持っている
棚POWER、店POWER	1段目は「棚高さ」=「棚厚さ」となる *1段目は「棚厚さ」=0で出力
Space Planning by Intactix(tm)	---
コックピット	1段目の「棚厚さ」は別途持っている



### 3 各システム入出力時のガイドライン



### 3 各システム入出力時のガイドライン

#### ● 台(ゴンドラ)毎の名称

システム名	
APOLLO	なし
Store Manager	なし
SPACEMAN	32文字以内でユーザーが設定した名称がセットされる
棚サイエンス	なし
棚POWER、店POWER	名称はないが、6桁の英数字がセットされる(棚POWERのみ)
Space Planning by Intactix(tm)	---
コックピット	50バイト以内でユーザーが設定した名称がセットされる

### 3 各システム入出力時のガイドライン

#### ● 連結されている棚の中で連結部にかかる商品の出力

システム名	
APOLLO	左の棚の商品としてセットされる
Store Manager	左の棚の商品としてセットされる
SPACEMAN	左の棚の商品としてセットされる
棚サイエンス	左の棚の商品としてセットされる
棚POWER、店POWER	右の棚の商品としてセットされる
Space Planning by Intactix(tm)	---
コックピット	左の棚の商品としてセットされる

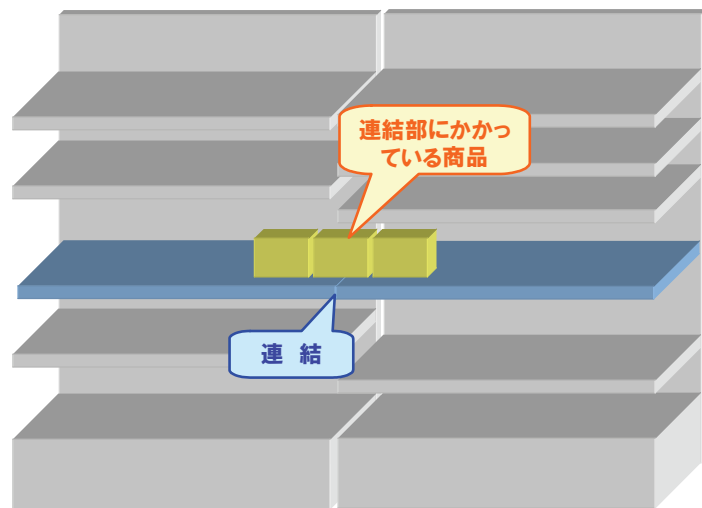
### 3 各システム入出力時のガイドライン

- 連結されている棚の中で連結部にかかる商品が複数フェイスある場合の出力

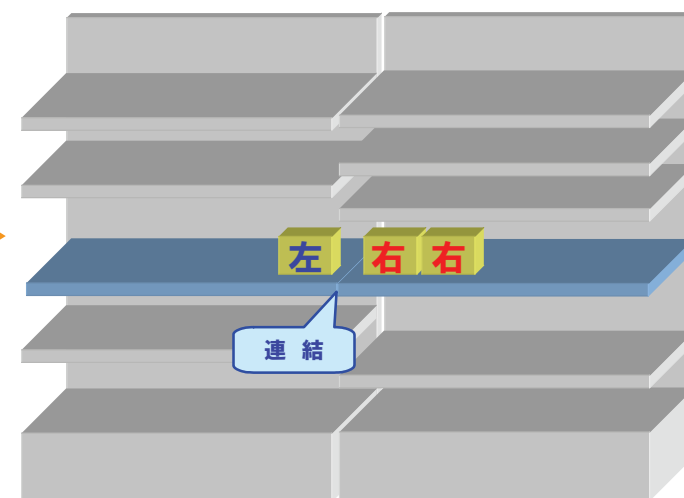
システム名	
APOLLO	複数フェイスをまとめて左の棚にセット
Store Manager	連結部にかかっているフェイスは左の棚に、その他はそのフェイスが載っている方の棚にセット
SPACEMAN	複数フェイスをまとめて左の棚にセット
棚サイエンス	複数フェイスをまとめて左の棚にセット
棚POWER、店POWER	連結部にかかっているフェイスは右の棚に、その他はそのフェイスが載っている方の棚にセット
Space Planning by Intactix(tm)	---
コックピット	連結部にかかっているフェイスは左の棚に、その他はそのフェイスが載っている方の棚にセット

# 3 各システム入出力時のガイドライン

## 連結棚のイメージ



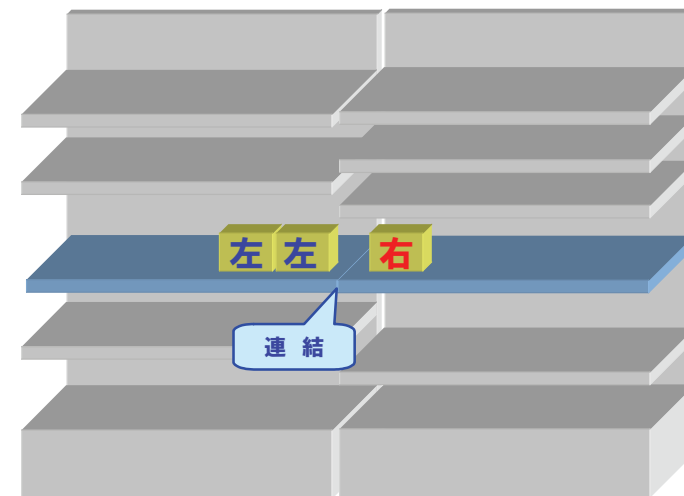
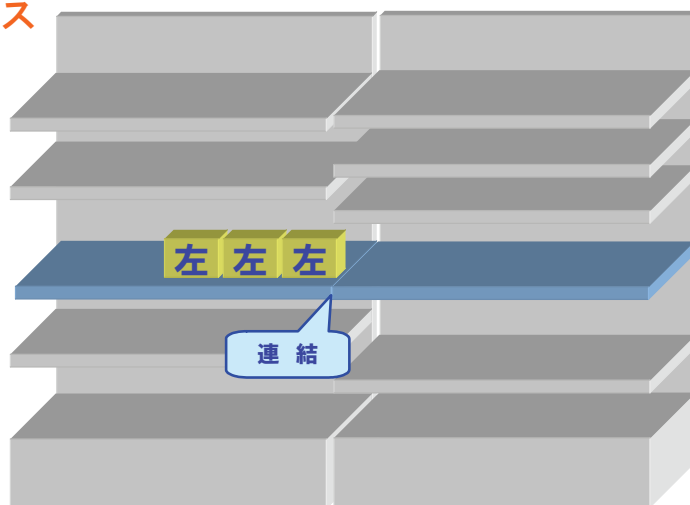
棚POWER、店POWER



Store Manager  
コックピット



APOLLO  
SPACEMAN  
棚サイエンス



## 3 各システム入出力時のガイドライン

### ● 候補商品(床置き商品)の出力

システム名		システム内名称
APOLLO	出力しない * 候補商品の概念はない	
Store Manager	出力する	床置き
SPACEMAN	仮置き棚を作成し商品を載せていれば出力される	仮置き棚
棚サイエンス	出力する	床置き
棚POWER、店POWER	出力する	仮置き
Space Planning by Intactix(tm)	---	
コックピット	出力する	作業棚

### 3 各システム入出力時のガイドライン

#### ● PTS取り込み時(インポート時)に商品マスタがない場合

システム名	
APOLLO	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダミー商品として取り込む</li> <li>・サイズはユーザーが自由設定可能 特にサイズを設定しない場合は、1辺10cmで自動設定</li> </ul>
Store Manager	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、①「ダミー商品」②「箱」③「無視(取り込まない)」をユーザーが設定</li> <li>・「ダミー商品」「箱」として取り込む場合はサイズをユーザーが設定</li> </ul>
SPACEMAN	デフォルトサイズ(H6cm×W4cm×D2cm)の商品として取り込む
棚サイエンス	1辺10cmのダミー商品として取り込む
棚POWER、店POWER	1辺10cmのダミー商品として取り込む
Space Planning by Intactix(tm)	---
コックピット	1辺5cmの商品(ダミー商品ではない)として取り込む

### 3 各システム入出力時のガイドライン

#### ● PTS取り込み時(インポート時)に棚の幅に収まらない場合

システム名	
APOLLO	棚落ちはしない 棚板の色を変えて表示される
Store Manager	床に落ちる ただし、商品マスタ上で持っている圧縮率までは自動で圧縮される
SPACEMAN	未陳列リスト内に落ちる
棚サイエンス	棚落ちはせず、自動で圧縮される
棚POWER、店POWER	仮置きに落ちる 店POWERは、設定により什器幅の拡大も可能
Space Planning by Intactix(tm)	---
コックピット	棚落ちはしない ただし、棚からはみ出している商品は赤くシェイプ表示される



## 3 各システム入出力時のガイドライン

### ● フック棚を設置する場合の制限

システム名	
APOLLO	特になし
Store Manager	フックを設置する場合は、すぐ上の棚の下面から最低20mm空ける必要がある
SPACEMAN	特になし (ただし、袴のすぐ上にフック棚(Spacemanではハンギングバーと呼ぶ)を設置し、商品を吊り下げる場合、「フック棚の奥行き」<「袴の奥行き」に設定する必要がある)
棚サイエンス	特になし (フックの概念がなく、上の棚に吊り下がるだけ)
棚POWER、店POWER	特になし
Space Planning by Intactix(tm)	---
コックピット	最上段がフック棚の場合は、「台高さ」=「フック棚設置高さ」となる

### 3 各システム入出力時のガイドライン

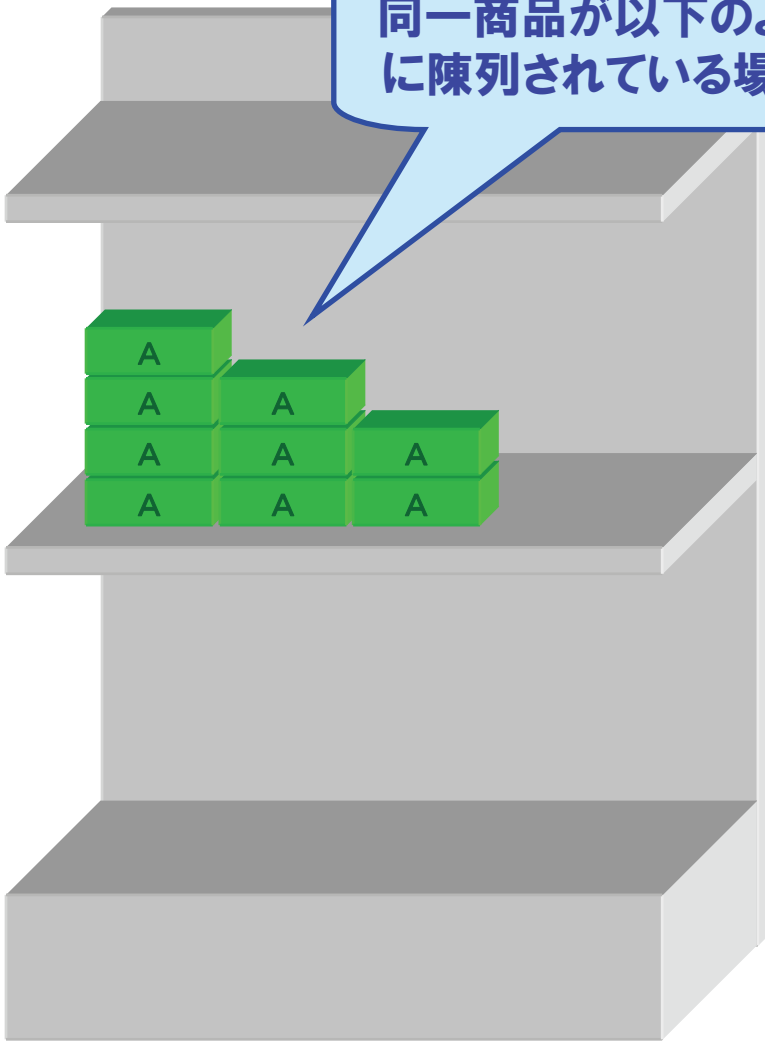
- 同一商品複数フェース陳列で、フェース毎の積上数が異なる場合の出力

システム名	
APOLLO	(フェース毎に積上数を変えることは不可)
Store Manager	積上数が異なる毎に別レコードとして出力する
SPACEMAN	(フェース毎に積上数を変えることは不可)
棚サイエンス	積上数が異なる毎に別レコードとして出力する
棚POWER、店POWER	一番右側の積上数が有効となる
Space Planning by Intactix(tm)	---
コックピット	積上数が異なる毎に別レコードとして出力する

# 3 各システム入出力時のガイドライン

## 積上数違いのイメージ

同一商品が以下のように陳列されている場合



Store Manager  
 コックピット  
 棚サイエンス  
 PTS出力

- ・積上数(4)の商品Aが1フェース
- ・積上数(3)の商品Aが1フェース
- ・積上数(2)の商品Aが1フェース

棚POWER、店POWER  
 PTS出力

- ・積上数(2)の商品Aが3フェース